

右京区役所 ☎861-1101 (代表)
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/

右京区役所 Facebook
日々更新中!
ぜひのぞいてみてね!



京都市右京区役所 Facebook 検索
http://www.facebook.com/ukyoku



右京区シンボルマーク入りのポロシャツを着て、職員もクールビズ!



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎661-3755、FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから)
パソコン http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html
携帯電話 http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/

右京区まちづくり区民会議 「右京大交流会」盛大に開催

7月3日、学生からお年寄りまで100名を超える方が集まり、右京区まちづくり区民会議を開催しました。



「オール右京」の絆づくり

今年度初となる全体会議。今回は、各種事業を介した「交流」がテーマ。

まず、市民活動団体及び区役所の進める7事業が活動内容についてプレゼンテーション。参加者は事業への提案や質問などをカードに記入し、

テーブルごとに意見交換。続いて、事業ごとにブースに分かれ、参加者は興味のあるブースに移動して質疑応答。

「費用はどのくらい?」「後継者はいるの?」「うちの団体が協力できるかも」といった質問や提案が次々飛び出し、いずれのブースでも活発な議論が飛び交いました。

参加者からいただいた意見はアイデアの宝庫。事業の今後の活動につなげていきます。水当りの会議の様子(一部)を、動画(ユーストリーム)で配信しています。
http://www.ustream.tv/recorded/33738860

区民レポーターからの報告! 右京区ジュニア円卓会議活動始動

7月11日、「右京支部中学校生徒会サミット」第1回右京区ジュニア円卓会議が開催され、「自分を大切にすること」「自分を大切にすること」をテーマに中学生たちが議論を行いました。

今回は、自分の考えを表現すると共に他者の考えも理解することで考えを深めることと、議論を通して自己有用感や他者への思いやりを育むことが目的。私たち学生もサポーターとして参加しました。



学生のサポートを受け、中学生たちが活発に議論

大人にとっても難しいテーマに対し、中学生の皆さんは、「自分を好きであること」「自分に厳しくすること」「自分だけでなく友達な



多数の参加者が議論 特派員の突撃取材も!

(区役所ホームページからもリンクしています)

今年度の区民会議は、あと2回実施予定。一般の方の傍聴もできます(開催情報は、区役所ホームページで告知予定)。

集合場所 京北森林公園
内容 ①コースの各ポイントで野菜の収穫や酒蔵見学などを体験。②男女のグループでコースを回って食材を集め、バーベキューや生演奏を楽しむながら交流。

参加費(昼食代、おみやげ代など含む、事前振込)
①3千円、②5千円
※サンサ右京からの送迎バス利用は別途千円(小学生以下500円、折り畳み自転車のみ持ち込み可)

私たちが学生や大人にとって、中学生の考えから多くを学んだ機会となりました。



立命館大学 産学連携 学部2年 高橋あかり

ぐるりん(京北) 2012京北Koi-Koiサイクリング参加者募集 今年度は婚活枠も新設!

今年度は山国さきがけフェスタと同時開催。ファミリーや自転車愛好者向けの①一般枠と、結婚相手やパートナーをお探しの方を対象とした②婚活枠の2つの枠で実施します。日時 10月14日(日)午前9時～午後3時(雨天中止) コース 約20kmから体力と時間に応じて延長可)

うれしいニュース

地域活性化事業
右陰活性化事業
地域散策マップ&アクションプラン完成!

平成22年度から取り組んできた右陰地域活性化事業。地域の魅力を再度見直し、地域散策マップを作り直しました。また今後の右陰が元気な地域であるために、どうしたらよいかを地域住民全体で考え、右陰を活力のある地域に回復する指針となるアクションプランを作成しました。

右陰学区自治連合会会長 大西貞雄氏
棚田などの自然や地域の魅力が伝わるような地域散策マップが完成しました。また地域の夢や希望を込めたアクションプランができ活性化へ向けて新たなスタートをします。ぜひ皆さま



左から 青壮年部田中副部長、大西会長、野々村さん

右京区から平成24年度 JCOM プロジェクト賞 受賞者誕生!

南太秦学区では、住民参加型バス利用促進モビリティ・マネジメントの取り組みが継続して行われています。これは、土井勉氏・京都市交通局及び右京区役所がバックアップしています。

この度、この取り組みが平成24年度JCOMプロジェクト賞に選定されました。この賞は、国内の様々なモビリティ・マネジメントの一連の取り組みの中で実施された「実務的なプロジェクト」の中でも特に優秀な取り組みや研究に授与されるものです。このような全国的にも先進的な取り組みを今後も継続して行ってほしいですね。

発見! 自治会・町内会

22歳! 「対話の会長」スカイハイツ町・宮西勇人自治会長
「生まれ、安らぎを与えられた地域に恩返しをしたい」と語る宮西会長は、20歳の時に自治会長デビュー。今年で2回目の自治会長の仕事についてお話を聞きました。

「どんな自治会活動をされていますか?」
地蔵盆と体育祭の他、「交流会」を年に2回開催。6月にはみんなで「やきそば」をしましたよ。新しくマンションに越してきた人やお年寄りも誘い、たくさんの方が参加してくれました。集まった時は、輪になって必ず自己紹介をするようにしているんです。みんなの顔と名前を知るとても良い機会になります。



スカイハイツ町 宮西勇人自治会長

また、お年寄りを対象とした「まろや会」や子どもたちのための「クリスマス会」を開催。会長として大切にしていることは何ですか?
高齢者や子どもにも気軽に声をかけてもらえる存在になりたい。だからできるだけ多くの人と対話しています。せっかく同じ町内なのだから、クラスが同じのようなもので、気軽に友達になれたら楽しいじゃないですか。
今後の課題は?
今年の課題は防災意識。毎年防災訓練の参加者も少ない状況です。例えば、バケツリレーをやってみたい。役立つか役立たないかわからなく、「みんなで行った」という一体感